

伝書鳩

発行

那覇市教育委員会
教育相談課
〒902-0064
那覇市寄宮 2-32-1
真和志庁舎 4階
TEL 098(832)7868
TEL 098(917)3508
FAX 098(832)7869

令和2年度 青少年指導員連絡協議会 総会 第二回連絡会・研修会・情報交換会

7月4日(火)、那覇市中央公民館にて、令和2年度青少年指導員連絡会・研修会が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大の防止により、4月の連絡会が中止となった為、今年度初めての会となりました。多くの指導員が参加されました。研修会では、沖縄県中央児童相談所から親戚静代所長を招聘して、「児童相談所の現状と課題」、「不良行為・深夜徘徊の青少年への対応」、「児童相談所との連携について」の3つのテーマでご講演頂きました。沖縄県は全国に比べ非行相談の割合が高く、少年犯罪の低年齢化が特徴的でした。また平成27年頃から虐待相談対応の件数が増加しており、学校や警察、また世間の関心も高まっているように見受けられました。研修の後半では青少年を理解する2つの視点について触れ、非行に向かう青少年と私たちは境遇が違うだけでまったく同じ人間であり、子どもたちと私たちの願いは同じであること、子どもたちを正しく理解することについて話されていました。日頃からの指導員の皆様の地道な活動が、地域の青少年の理解を深め、非行の早期発見・未然防止に繋がっていると改めて確信しました。平日の貴重な時間にも関わらず、ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。



SNS上の誹謗中傷に 巻き込まれないために

近年SNS上での誹謗中傷の問題が注目されています。SNSが主流となりつつある現代においては、誰もが被害者にも加害者にもなり得ます。ネット中傷の被害者になってしまった時の対処方法3点と、加害者にならないための注意点を3点紹介します。

①反論しない
②証拠を保存する
③専門家・公的機関等に相談する(弁護士や警察サイバー窓口等)



反対に、加害者にならないための注意点として以下の3点を確認する必要があります。

①投稿した内容に個人情報が含まれていない事。
②多くの人の目に触れても良い内容である事。
③匿名の投稿でも訴訟問題に発展する恐れがある事。

そして、「批判」「非難」「誹謗中傷」この3つのワードが全て違う意味を持つことを、SNSを使用する全ての人たちが理解する必要があります。また悪ふざけの内容が炎上し、投稿者の個人情報特定・公開されたという事例が後を絶ちません。最悪の場合、殺人・自殺につながった事例もあります。ネット上だからと言って安易に行動せず、一人一人がネット中傷に関与しない意識を持つことが大切です。

【上半期の青少年指導員活動状況について】

今年度は、4月から新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、市内小中学校では4・5・8月に臨時休業となりました。そのため、学校行事の大幅な見直しから、第1金曜日、第3金曜日夜間街頭指導の実施も変更が相次ぎました。その中で青少年指導員は、教職員や各中学校区青少年健全育成協議会と連携し、「青少年の非行と問題行動の早期発見・早期対応・早期指導による事件・事故の発生・未然防止と健全育成の確保に努める。」を目的の下、「3密」を避け、工夫した取組みや活動を行いました。

取組みや活動例

- 1 第1金曜日夜間街頭指導は、情報交換会のみを実施。第3金曜日夜間街頭指導は、巡回指導を実施。
- 2 第3金曜日夜間街頭指導は、情報交換を各小中学校から書面で報告。生徒指導主任・青少年指導員・補導員で巡回指導を実施。
- 3 青少年指導員で、毎週1回巡回指導を実施。(自主活動)
- 4 第3金曜日夜間街頭指導参加者を1期(9~12月)・2期(1~3月)に分け実施。
- 5 屋間に巡回指導を実施。(校区内の公園や公共施設・下校時間の安全指導など)

このように、コロナ禍で例年どおりの活動が困難な中ではありますが、那覇市青少年指導員一同、これからも学校・地域・関係機関等と協力連携しながら、効果的な活動を継続していきます。

教育相談課第一金夜間街頭指導の 取り組みについて

今年度は、新型コロナウイルスの影響により制限が多くなる中、8月の夜間街頭指導は中止となりましたが、6・9月は当課職員のみ、7・10月は例年通り参加者を募っての巡回を行うことができました。



指導状況として、中学生の夜遊びが31件、高校生の夜遊びが116件、有職少年の夜遊びが3件の合計165件あり、その内、中学生の喫煙が6件、有職少年の喫煙・飲酒が3件ありました。今後新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、地域の皆様、関係機関の皆様のご協力も頂き、子どもたちを見守っていききたいと思います。

新型コロナウイルスに伴う 休業中の児童・生徒の様子

令和2年度4月から新学期がスタートし、新型コロナウイルスの影響で休業期間が長く続き、教育相談課では、休業中の市内巡回を強化し、休業中の子ども達の過ごし方を見守ってまいりました。国の緊急事態宣言が解除され、気のゆるみが見られ始めた頃、那覇市内の中・高校生たちは、休業期間から夏休みにかけて、危険行為が目立つようになってきました。主に目立っていた危険行為をあげると、若狭にある「那覇クルーズターミナル」、安謝と浦添市の境目の商業地域「西洲」にある遊泳禁止の防波堤などから、海への飛び込み行為です。今年の夏は台風の発生が少なく海水温が下がることにより見られなかったこともあり、ハブクラゲが大量に発生していた為、飛び込み行為を厳重に注視してまいりました。実際に那覇クルーズターミナルでは、大量に浮いているハブクラゲを目視し、そのハブクラゲの横で遊泳している子どもたちもいる光景に遭遇しました。直ちに海から出てもらい、泳いでいた子どもたちにもハブクラゲを直接見てもらうと同時に、ハブクラゲの危険性を説明し帰宅指導を行いました。那覇市内の学校からはハブクラゲや飛び込み行為によるケガなどの報告も有りました。今後は問題行動の未然防止だけではなく、飛び込み等の未然防止の為、各学校、関係機関等と連携しながら那覇市の子ども達の健全育成に取り組む必要があります。

年末年始飲酒防止 新型コロナウイルス感染拡大防止

早いもので、今年も年末が迫ってきました。沖縄県発表の令和元年度の飲酒による青少年の補導件数は、平成30年より14件減の82件となっており、今年度は新型コロナウイルスの影響で様々なイベント等が開催中止となつていますが、年末は冬休みを控え、解放的になる可能性がありますが、その期間中に集団飲酒が行われる可能性があり、そこから更に新型コロナウイルスが増え、いく可能性も大いにあります。

このような中で、青少年の飲酒防止・コロナウイルスの感染防止に必要な事は、「青少年が酒類を入手できない環境づくり」であり、「集団での密にならない行動」を心がけることだと考えられます。最近では少しずつコロナウイルスに対する認識が薄くなってきているように感じられますが、今一度身を引締め、再度警戒をする必要があるのではないかと考えます。その為にも、未然防止に向け、地域の皆様による「温かい見守り・声かけ」は重要になってきますので、年末年始に向けて関係者一人一人が決意を新たに、青少年の飲酒防止・コロナウイルス感染拡大未然防止に向けて取り組んでいきたいと思います。

お知らせ

第3回青少年指導員連絡会・研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。予定していた研修内容は次回、令和2年2月17日(水)にそのまま移行して行います。次回の開催場所は状況を見て判断し追ってご連絡いたします。



12月~2月の行事予定	
12月9日(水)	なは教育の日 式典
12月25日(金)	那覇市立小・中学校2学期前半終了
1月11日(月)	那覇地区成人の日式典
2月17日(水)	青少年指導員連絡会・研修会